

情報提供

那医発第 170 号
令和4年7月4日

施設長各位

那覇市医師会
会 長 友利博朗
副 会 長 田名 毅



平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。

沖縄県医師会より下段のとおり、「健診結果に基づく慢性腎臓病（CKD）の早期受診勧奨について」の
情報提供がございましたのでご案内申し上げます。

☆ 問合せ先（那覇市医師会 事務局：宮城・前泊 / 電話 098-868-7579）

.....記.....

沖 医 発 第 4 4 5 号
令 和 4 年 6 月 2 7 日

地区医師会担当理事 殿

沖縄県医師会
副会長 宮里



健診結果に基づく慢性腎臓病（CKD）の早期受診勧奨について

今般、日本医師会より標記文書が発出されましたのでお知らせ致します。

本件は、健診結果に基づく CKD の早期受診勧奨のための啓発用リーフレットについての
通知となっております。リーフレットは厚生労働省ウェブサイトよりダウンロード可能で
す。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知の上、貴管下会員への周知方
につきご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 健診結果に基づく慢性腎臓病（CKD）の早期受診の勧奨について
(令和4年6月16日（日医発第538号）(健II))

CKD 啓発リーフレット

「腎臓からの SOS を見逃していませんか？～腎臓と脳や心臓の関係、尿蛋白って？～」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000944505.pdf>

※関係文書は文書管理システムへ掲載いたします。

沖縄県医師会事務局業務2課：赤嶺
TEL：098-888-0087
FAX：098-888-0089
g2@okinawa.med.or.jp



日医発第 538 号 (健Ⅱ)
令和 4 年 6 月 16 日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
羽 鳥 裕
(公印省略)

健診結果に基づく慢性腎臓病 (CKD) の早期受診勧奨について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、腎疾患対策においては、平成 30 年 7 月に厚生労働省がとりまとめた「腎疾患対策検討会報告書～腎疾患対策の更なる推進を目指して～」の中で、健診受診後の適切な保健指導・受診勧奨が実施すべき取組のひとつとされています。

今般、厚生労働省より、健診結果に基づく CKD の早期受診勧奨のための啓発用リーフレットについて各都道府県等衛生主管部 (局) 宛て事務連絡がなされ、本会宛て別添の周知依頼がありましたのでご連絡申し上げます。なお、当該リーフレットは下記厚生労働省ウェブサイトよりダウンロードが可能であることを申し添えます。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会及び関係医療機関等に対する情報提供についてご高配のほどお願い申し上げます。

記

CKD 啓発リーフレット

「腎臓からの SOS を見逃していませんか? ～腎臓と脳や心臓の関係、尿蛋白って?～」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000944505.pdf>

腎臓からのSOSを見逃していませんか？

自覚症状に乏しい腎臓の病気は、早期から適切な治療を受けることが大切です。

健診結果を見直してみましょう

(1+/2+/3+)は
医療機関の受診を

蛋白尿は腎臓の涙！
泣いている原因を探しましょう。

(1+)
(1+)
所見なし
所見なし
所見なし
所見なし

| | | |
|-----|----|------|
| 尿検査 | 糖 | (-) |
| | 蛋白 | (1+) |
| | 潜血 | (-) |

| | | |
|-----|-------------------|-------------|
| 腎機能 | 尿素窒素 | 12.1 |
| | クレアチニン e G F R | 1.1 56.9 |
| 尿 | ナトリウム | |
| | カリウム | |
| | クロロゲン酸 | |
| | カルシウム | |
| 無機 | | |

60未満は
医療機関の受診を

年齢・性別・血清クレアチニン値より計算されるeGFR値は、腎臓の状態を示します。

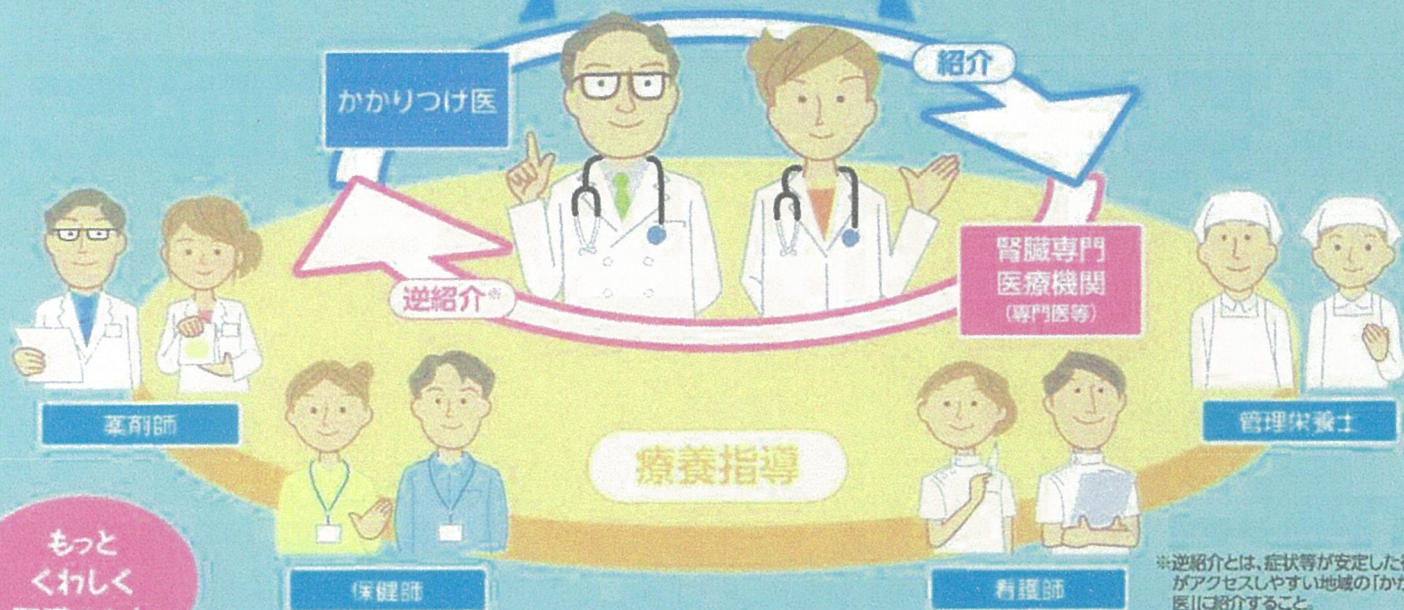
自分の腎臓と長くつきあうための第一歩
かかりつけ医に相談しましょう。

・クレアチニンは健診における必須項目ではないため、測定されないことがあります。
・既に医療機関を受診している場合は主治医に相談してください。
・60未満が3か月以上持続する場合、慢性腎臓病の可能性がります。

安心して治療を受けられる医療体制の整備に取り組んでいます

かかりつけ医等と腎臓専門医療機関(専門医等)が連携して診療し(2人主治医制)、
メディカルスタッフとともに療養指導にあたります。

2人主治医制

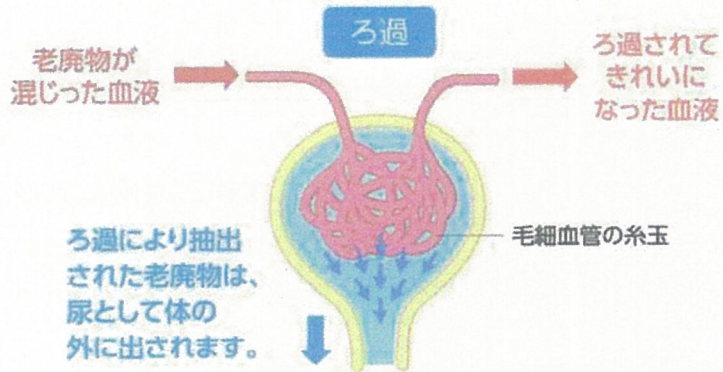
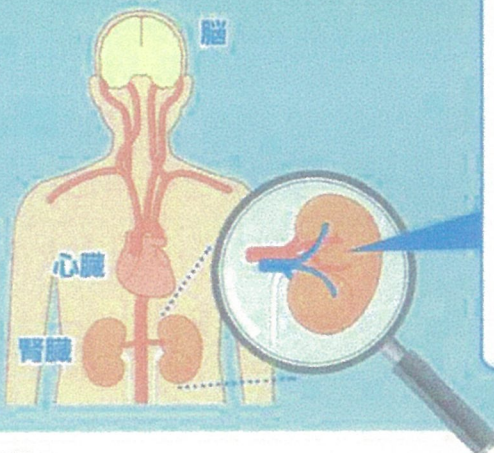


※逆紹介とは、症状等が安定した後、患者がアクセスしやすい地域の「かかりつけ医」に紹介すること。

もっとくわしく
腎臓のこと

腎臓と脳や心臓の関係、尿蛋白って？

腎臓は体に2個、
脳や心臓と血管でつながっています。



1個の腎臓には、毛細血管の糸玉が約100万個

毛細血管の糸玉に傷がつくと、蛋白が尿へ漏れていきます。



健診で尿蛋白が「+」と出たけど、どういう意味でしょう？

腎臓は毛細血管が糸玉のようなかたまりになったものが集まった臓器です。この血管の糸玉で、老廃物のろ過をしています。

尿蛋白が陽性ということは、この血管の糸玉に傷がついて、本来、体の外には出ていかない蛋白が尿へ漏れていることを示しています。



痛くもないし、体調も悪くないから、このまま様子をみようかな。

尿蛋白は腎臓の血管の糸玉に傷がついているサインです。同じ血液が流れる全身の血管の傷みも疑われ、脳卒中や心臓病の危険性が高まることが知られています。



右上へつづく ↑

腎臓の機能が低下した状態や尿蛋白陽性が持続する状態を慢性腎臓病(CKD)といいます。症状がないため、放置してしまうと徐々に腎臓の機能が悪くなり、むくみや貧血が進み、さらに進行すると透析が必要になります。



できるだけ長く元気に暮らしていくためにはどうしたらいいの？

早期の受診が大切です。元々、腎臓の機能は、血管の老化により加齢とともに低下し、さらに血管を傷めるような病気、糖尿病や高血圧症等があるとCKDの進行が早まります。逆に、これらの病気をしっかり治療すれば、CKDの進行をコントロールすることができます。

CKDをきちんと管理すれば、脳卒中や心臓病の危険性を低め、健康寿命を長く保つことができます。厚生労働省では、かかりつけ医と専門医等の2人主治医制を推奨しています。2人の医師が治療をしっかりサポートして、あなたの腎臓を守ります。



安心して受診を



腎疾患対策のページへ

厚生労働省 腎臓

検索

